

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月15日
【四半期会計期間】	第61期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	株式会社ホリプロ
【英訳名】	HORIPRO INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 堀 義貴
【本店の所在の場所】	東京都目黒区下目黒1丁目2番5号
【電話番号】	03(3490)4601(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 業務本部執行役員 安永 和男
【最寄りの連絡場所】	東京都目黒区下目黒1丁目2番5号
【電話番号】	03(3490)4601(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 業務本部執行役員 安永 和男
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第60期 第1四半期連結 累計期間	第61期 第1四半期連結 累計期間	第60期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
営業収入（百万円）	4,311	4,426	20,969
経常利益（百万円）	553	463	2,338
四半期（当期）純利益（百万円）	367	247	934
四半期包括利益又は包括利益 （百万円）	180	268	877
純資産額（百万円）	19,410	19,928	20,008
総資産額（百万円）	25,593	25,456	26,519
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	25.94	17.47	65.92
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	-	-	-
自己資本比率（％）	75.2	77.5	74.7
営業活動による キャッシュ・フロー（百万円）	20	135	1,744
投資活動による キャッシュ・フロー（百万円）	325	409	720
財務活動による キャッシュ・フロー（百万円）	276	351	382
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（百万円）	8,921	9,248	10,139

- （注）1．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2．営業収入は消費税等抜きで表示しております。
- 3．第60期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 平成22年6月30日）を適用し、遡及処理しております。
- 4．潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第1四半期における日本経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況にあるなかで、このところ上向きの動きがみられたものの、デフレの影響や雇用情勢の悪化の懸念が依然残っております。

当業界を取り巻く環境も、企業の広告宣伝費の削減等の影響を受け、厳しい状況が継続いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、次世代のスターの発掘・育成を図り、根幹であるタレントマネジメントを軸に、そこから派生するさまざまなビジネスを拡大させ、映像、肖像、音楽などに関わる多くの権利を保有する「コンテンツホルダー」として、人々の心に夢や感動を提供するエンターテインメントの創造に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期の連結業績は、営業収入44億26百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益4億25百万円（前年同期比11.8%減）、経常利益4億63百万円（前年同期比16.2%減）、四半期純利益2億47百万円（前年同期比32.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります（各セグメント別の金額はセグメント間の取引を含んでおり、連結合計の金額はそれらを消去した後の数値であります）。

出演事業においては、和田アキ子、片平なぎさ、榊原郁恵、船越英一郎などのベテラン勢による安定した活躍に支えられ、松山ケンイチの2012年NHK大河ドラマ「平清盛」の清盛役決定に続き、数多くのCMに出演し、2009年度の連ドラNo.1視聴率を記録したTBS連続ドラマ「JIN-仁-」のヒロイン役を務めた綾瀬はるかが、2013年のNHK大河ドラマ「八重の桜」の主役に決まるなど、若手タレントに多くの期待が寄せられています。

お笑いタレントでは、TBSテレビ「さまぁ～ずのヤリタ ガ～リ～」、テレビ東京「モヤモヤさまぁ～ず2」などに出演中のさまぁ～ず、バナナマンなどが数多くのバラエティ番組で活躍しました。

この結果、当事業の営業収入は20億43百万円（前年同期比9.1%増）となり、営業利益は7億15百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

映像事業においては、テレビ番組では、レギュラー番組の日本テレビ「誰だって波瀾爆笑」、テレビ朝日「クイズプレゼンバラエティ Qさま!!」、「お試しかっ!」などを制作しました。中でも、ホリプロ50周年記念作品として制作し放送された、テレビ朝日ドラマスペシャル「遺恨あり明治十三年 最後の仇討」は、視聴者に感銘を与え優れた放送作品に贈られる放送文化基金本賞を受賞するなど高い評価を受けました。

コマーシャルでは、「永谷園」、「マルハン」など多くの作品を制作しました。

その他、配信分野においては、携帯専用放送局BeeTV「和田アキ子最強バトル!」、「教えてバナナマン」、GyaO!やWiiの動画配信コンテンツなどを制作しました。

この結果、当事業の営業収入は7億39百万円（前年同期比36.6%増）となり、営業利益は57百万円（前年同期比491.2%増）となりました。

音楽事業においては、CDアルバムでは、山瀬まみデビュー25周年記念アルバム「山瀬まみ -25th Anniversary Best Album-」、HI ROCKATION MARKETS初のフルアルバム「ハイロケ」、藤原道山のライブアルバム「讃 -SAN-」、歌うキッチンファーストアルバム「歌うキッチン」、CDシングルでは、和田アキ子のシングル「ff（フォルテシモ）」、May'nのシングル「Scalet Ballet」などが発売されました。

音楽配信においては、板野友美本人が出演するコマーシャルのCMソングとして起用されたシングル「Wanna be now」、「愛にピアス」が次々に配信されました。

その他、May'nのライブやエピソードが盛り込まれた新曲CD付きの初のアーティストブック「May'n 1st ARTIST BOOK LIVEALIVE」や、南波志帆が唄やナレーションを担当し、子どもから大人まで愛され続けるチェコアニメのキャラクター「森の精アマルカ」のDVDブック「はじめまして編」、「おやすみ編」などが発売されました。

この結果、当事業の営業収入は4億36百万円（前年同期比16.0%減）となり、営業利益は1億8百万円（前年同期比39.2%減）となりました。

公演事業においては、舞台公演では、市村正親主演、宮本亜門演出のブロードウェイ・ミュージカル「スウィーニー・トッド」を再演、また毎回SOLD OUTとなるさまぁ～ずの単独ライブ「さまぁ～ずLIVE 8」を2年ぶりに開催しました。

コンサート公演では、May'nが「ASIA TOUR 2011『UNITE!!』」を、中国（上海、広州）、韓国、台湾、香港、シンガポールで開催しました。

この結果、当事業の営業収入は5億17百万円（前年同期比16.4%減）となり、営業損失67百万円（前年同期は67百万円の営業利益）となりました。

小売事業においては、ファッション雑貨ショップ「ルートスター」やアクセサリーを専門に取り扱う「エクスペリー」にて、トレンドに敏感な女性をターゲットにした商品を、駅ビルを中心に全国で販売展開しています。

また、ベルギー生まれの世界的なカジュアルバッグブランド「キプリング」の日本総輸入販売元として、全国の主要都市の店舗や百貨店、通信販売などで販売しました。

この結果、当事業の営業収入は6億88百万円（前年同期比8.0%減）となり、営業損失1百万円（前年同期は7百万円の営業利益）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計年度末と比較して8億90百万円減少し、92億48百万円となりました。

営業活動により使用した資金は1億35百万円（前年同期比1億55百万円増）となりました。資金の増加要因の主なものは売上債権の減少（5億47百万円）であり、資金の減少要因の主のものは法人税等の支払（6億16百万円）、仕入債務の減少（4億15百万円）であります。

投資活動により使用した資金は有価証券の取得（5億3百万円）等により4億9百万円（同84百万円増）となりました。

財務活動により使用した資金は主として配当金の支払により3億51百万円（同74百万円増）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	58,940,000
計	58,940,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,182,800	14,182,800	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	14,182,800	14,182,800	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	-	14,182,800	-	4,583	-	4,619

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区 分	株式数（株）	議決権の数（個）	内 容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 5,700	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 14,162,200	141,622	-
単元未満株式	普通株式 14,900	-	-
発行済株式総数	14,182,800	-	-
総株主の議決権	-	141,622	-

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が500株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数5個が含まれております。

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
株式会社ホリプロ	東京都目黒区下目黒 1丁目2番5号	5,700	-	5,700	0.04
計	-	5,700	-	5,700	0.04

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成していません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,639	5,748
受取手形及び営業未収入金	2,897	2,350
有価証券	4,199	4,301
商品	642	582
仕掛制作費	265	319
その他	1,086	1,148
貸倒引当金	71	70
流動資産合計	15,659	14,381
固定資産		
有形固定資産	2,527	2,722
無形固定資産	341	382
投資その他の資産		
投資有価証券	4,967	4,975
その他	3,163	3,137
貸倒引当金	140	143
投資その他の資産合計	7,990	7,970
固定資産合計	10,859	11,075
資産合計	26,519	25,456
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,692	1,275
短期借入金	1,350	1,350
未払法人税等	708	301
賞与引当金	155	267
役員賞与引当金	99	25
資産除去債務	0	-
その他	1,763	1,554
流動負債合計	5,770	4,774
固定負債		
退職給付引当金	101	104
役員退職慰労引当金	325	335
資産除去債務	96	94
その他	218	219
固定負債合計	740	753
負債合計	6,511	5,527

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,583	4,583
資本剰余金	4,619	4,619
利益剰余金	11,083	10,990
自己株式	5	5
株主資本合計	20,280	20,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92	89
為替換算調整勘定	379	369
その他の包括利益累計額合計	471	459
少数株主持分	200	200
純資産合計	20,008	19,928
負債純資産合計	26,519	25,456

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 1 四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
営業収入	4,311	4,426
営業原価	2,857	3,090
売上総利益	1,454	1,335
販売費及び一般管理費	971	910
営業利益	482	425
営業外収益		
受取利息	25	22
受取配当金	8	10
受取保険料	30	0
その他	18	10
営業外収益合計	83	44
営業外費用		
支払利息	3	2
為替差損	6	-
貸倒引当金繰入額	1	3
その他	0	0
営業外費用合計	11	5
経常利益	553	463
特別損失		
投資有価証券評価損	7	-
店舗閉鎖損失	-	1
役員退職慰労金	88	-
その他	28	-
特別損失合計	124	1
税金等調整前四半期純利益	429	461
法人税、住民税及び事業税	52	224
法人税等調整額	1	18
法人税等合計	50	205
少数株主損益調整前四半期純利益	378	256
少数株主利益	10	8
四半期純利益	367	247

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	378	256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	204	2
為替換算調整勘定	5	9
その他の包括利益合計	198	12
四半期包括利益	180	268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	169	260
少数株主に係る四半期包括利益	10	8

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	429	461
減価償却費	48	62
受取利息及び受取配当金	34	33
支払利息	3	2
売上債権の増減額(は増加)	263	547
たな卸資産の増減額(は増加)	519	6
仕入債務の増減額(は減少)	335	415
前受金の増減額(は減少)	527	95
その他	47	275
小計	335	452
利息及び配当金の受取額	32	31
利息の支払額	2	2
法人税等の支払額	345	616
営業活動によるキャッシュ・フロー	20	135
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	300	-
有価証券の取得による支出	-	503
有価証券の売却及び償還による収入	8	400
有形固定資産の取得による支出	40	251
無形固定資産の取得による支出	5	51
投資有価証券の取得による支出	697	2
投資有価証券の売却及び償還による収入	123	0
その他	14	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	325	409
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	269	340
その他	7	10
財務活動によるキャッシュ・フロー	276	351
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	6
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	579	890
現金及び現金同等物の期首残高	9,500	10,139
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,921	9,248

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (百万円)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (百万円)
現金及び預金勘定 7,421	現金及び預金勘定 5,748
取得日から3か月以内に償還期限の 到来する短期投資(有価証券) 1,500	取得日から3か月以内に償還期限の 到来する短期投資(有価証券) 3,500
現金及び現金同等物 8,921	現金及び現金同等物 9,248

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月26日 定時株主総会	普通株式	269	19.00	平成22年3月31日	平成22年6月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月25日 定時株主総会	普通株式	340	24.00	平成23年3月31日	平成23年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	出演	映像	音楽	公演	小売	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,746	532	519	615	742	4,157	154	4,311
セグメント間の内部売上 高又は振替高	126	9	0	2	5	144	21	166
計	1,872	541	519	618	748	4,301	176	4,477
セグメント利益又は損失 ()	642	9	177	67	7	905	0	904

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種スクール運営事業、ファンクラブ運営事業、ライセンス事業、劇場運営事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	905
「その他」の区分の損失	0
セグメント間取引消去	44
全社費用(注)	377
四半期連結損益計算書の営業利益	482

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	出演	映像	音楽	公演	小売	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,914	738	436	516	680	4,287	138	4,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	128	1	-	0	7	137	16	154
計	2,043	739	436	517	688	4,424	155	4,580
セグメント利益又は損失 ()	715	57	108	67	1	811	55	756

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種スクール運営事業、ファンクラブ運営事業、ライセンス事業、劇場運営事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	811
「その他」の区分の損失	55
セグメント間取引消去	11
全社費用(注)	342
四半期連結損益計算書の営業利益	425

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	25円94銭	17円47銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	367	247
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	367	247
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,177	14,177

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

	当第1四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
該当事項はありません。	

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8 月 8 日

株式会社ホリプロ
取締役会御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 吉村 孝郎 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 原井 武志 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ホリプロの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ホリプロ及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。